

特集

ヘルスリテラシーの視点から考える 意思決定支援

編集：近藤まゆみ，児玉美由紀

● 特集にあたって

近藤まゆみ，児玉美由紀 347

総論

● がん医療におけるヘルスリテラシーと情報支援

近藤まゆみ 348

● がん医療のプロセスにおける意思決定とその特徴

児玉美由紀 355

対象のヘルスリテラシーに合わせた支援

● 治療選択（初期治療）における意思決定支援 ～ヘルスリテラシーが高い患者の場合～

近藤まゆみ 360

● 治療選択（再発治療）における意思決定支援 ～ヘルスリテラシーが低い患者の場合～

児玉美由紀 365

時期別の意思決定支援

● セカンドオピニオンやインターネット情報の治療法に迷う患者の意思決定支援

櫻井 雅代 370

● がん治療後の後遺症を見据え，生きかたを選択していく意思決定支援

岸田さな江 375

● 治療の中止や延命治療に関する意思決定支援

～病状進行期の患者の「その人らしさ」を支える～

三好こはる 380

対象別の意思決定支援

● 認知症のある高齢がん患者の意思決定支援

波多江 優 385

● 学童期にある小児がん患者の意思決定支援

竹之内直子 390

● AYA世代がん患者の意思決定支援

津村 明美 396

特典

過去の記事（電子版）が閲覧できます

雑誌『がん看護』25巻3号（2020年）特集

意思決定支援

～患者の“決める”を支援する考えかたと実践のポイント～

編集：井沢 知子

・右のQRコードまたは下記URLより閲覧できます。

URL：<https://nankodo.box.com/s/4w3i51pozyougs5ne4ueepl7082vseen>

*クラウドストレージサービス「Box」を利用しています。ログインせずに閲覧が可能です。

・本特典の配信期間は、本号発行日より5年間を目途とします。ただし、その期間内でも配信を停止する可能性があります。

・本特典の閲覧権は本号の購読者に与えられるものです。第三者へQRコードまたはURLを開示・提供することを禁止します。なお、図書館等でのご利用にかかわる指針は弊社ホームページ（弊社著作物の利用について<https://www.nankodo.co.jp/pages/crp.aspx>）からご確認ください。



特別
寄稿

訪問看護師と外来看護師との連携

岩田 尚子 403

連載

▼ My Favorite Medicine!! [45]

チソツマブ ベドチン (テブダック®)

菅野かおり 407

▼リレーエッセイ●がん看護 CNS 巻き込む力を発揮中！～複雑で多様化する実践に挑む！～

【4 地域を巻き込みがん患者を支える① 病院所属で活躍する立場から】

地域全体で緩和ケアの提供体制の基盤をつくるための活動

小泉 純子 410

▼ガイドラインを読み解いて活かす！ がん患者の精神・心理ケア [6]

がん患者の再発恐怖のアセスメントとマインドフルネスなかかわりのポイント

～「がん患者における気持ちのつらさガイドライン 2024 年版」を読み解く～

縦野 香苗, 朴 順禮 413

▼がん看護の“今”を変える, 生成 AI という味方 [2]

がん看護の現場で生成 AI をどう使用するのか？

浅野 耕太 417

▼壁を越えた先へ！ チーム医療の実践力 [5]

乳がん医療チーム看護師の立場からみる副作用対応を支える多職種の連携

平野 ゆり 425

▼がん薬物療法看護の What's Trending！ Past ⇄ Current ⇄ Future [37]

がん薬物療法に関連した眼症状の特徴と看護支援

菅野かおり, 木下 実里 431

今月の
症例

挙児希望が曖昧なまま子宮全摘を悩む未婚患者の意思決定支援

船瀬満裕佳 441

BOOK

はじめてのがんゲノム医療 ～臨床のための基礎知識～

〔評者〕畑 千秋 447

INFORMATION

学会・イベント情報 448／バックナンバーのご案内 449／次号予告 451

?

グッズは現在制作中！
乞うご期待ください！

Web読者アンケートに答えて

南江堂オリジナルグッズ
プレゼントキャンペーン

ご協力
お願いいたします



皆さまの、雑誌「がん看護」に対するご意見、ご要望をお聞かせください。
皆さまからのご意見を大切に、よりよい誌面をつくってまいります。

URL : <https://forms.gle/9VuxM4sTvg3RuWj3A>

アンケート画面へはこちらからもアクセスできます→



著者ならびに出版社は、本誌に記載されている内容について最新かつ正確であるよう最善の努力をしております。しかし、臨床検査、薬剤の情報、および治療法などは、医学の進歩や新しい知見により変わる場合があります。また、誌面の都合上、一部解説を省略させていただいている箇所もございます。実際の看護実践への活用にあたっては、最新の添付文書などの情報を併せてご参照くださいますようお願いいたします。

2026/09/24 09:31:07